

浦川まち区

窓を開けると空が広がる町



浦川まち区のだの家の窓からでも、広い空と山並が望めます。

夏、緑に輝く山々から吹き下ろす風は心地良く、美味しい空気を運びます。山中から沸き出した水は冷たく透き通り、その先の川では子ども達が小魚と一緒に遊んでいます。

ここ佐久間町浦川まち区は、多くの緑に囲まれながらも、学校、スーパー、駅や自動車専用道路があり、大事な医療施設へのアクセスも良い地区なんです。

また、まち区内の歴史的な建造物は、「浜松市地域遺産」として認定もされています。自然と歴史を持つ浦川まち区で、楽しい田舎生活をしてみませんか？



浦川まち区
空き家マップ

静岡県浜松市天竜区 佐久間町浦川 まち区自治会

春

春、山には山桜が咲き始め、浦川キャンプ村や、浦川駅の周りには、写真に撮りたくなるような綺麗なソメイヨシノが咲き乱れます。浦川キャンプ村では、バーベキューなどを楽しめます。



夏、川遊びが始まります。透明感の高い、飲みたくなるようなキレイな川で泳ぎ、小魚と戯れ、釣り糸を垂らすと色々な魚が釣れます。ここ浦川の大千瀬川は静岡県の中でも魚の種類の多い川なんです。川でバーベキューなんてサイコーです。

秋

秋、大千瀬川の支流になる大入川の渓谷では、綺麗な紅葉を見ることが出来ます。また、飯田線浦川駅のホームから見える大きな銀杏の紅葉は、駅を降りる乗客の目を楽しませてくれます。



冬、畑で取れたさつまいもを干し芋にしたり、渋柿を干し柿にしたりと収穫した作物を家で干せば、なんとも言えない古き良き、日本の田舎臭さを感じることが出来ます。冬の保存食作りは、田舎暮らしの大事な仕事の1つです。

冬



浦川まち区は浜松市の「浜松市地域遺産」です。昭和の時代には、材木の集積地としての取引の場として栄え、商業地域として面影を残しています。格子の出窓は、かつての芸者置屋の面影を今もなお、残しています。



3年後には三遠南信道から新東名高速道路まで、二遠南信道浦川インターが繋がる予定です。そうなれば都心への通勤が容易になります。仕事は街で、生活は田舎で、そんな贅沢な人生を約束できる場所が浦川まち区にあります。

秘境駅で有名な「飯田線浦川駅」が最寄りであり、電車で通学通勤も可能ですよ。



夏

